

一橋大学の魅力

科目選択の自由による横断的教育 //

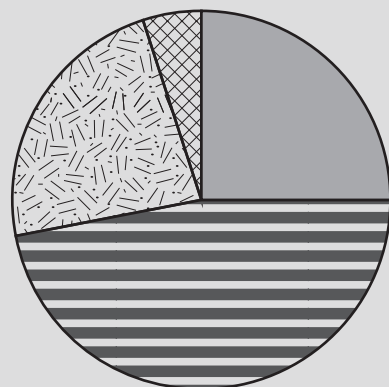
一橋大学では、自身の所属する学部の科目だけでなく、他学部の科目も履修することが可能です。一部の講義では学部や学年の制限がかかっていたり、特別プログラムへの参加が必須となっていたりと履修できないこともありますが、多くの場合学部によって履修できる科目が峻別されている他の大学と比べると、かなり自由度が高いと言えます。

この特徴により、各学生がそれぞれの興味・関心や展望に合わせて複数の学問体系を修められることは、一橋大学の大きな魅力の一つです。加えて、大学としても経済学部と法学部に対して双方の学問体系を効率的に修められるように必要最低要件を明確化した「経済学・法学副専攻プログラム」を設置するなど、履修を制限しないことに留まらず横断的な学習をサポートしています。

また、こうして他学部の科目を履修できることもあり、それぞれの講義でも他学部の学生と一緒に受講できる場合が多くあります。コンパクトで全学部が一堂に会する国立キャンパスの性質も相まって、一橋生であれば学部が違えども交流する機会が多いのは一橋大学の特徴の一つと言えるでしょう。例えば、1年生必修の英語クラス「PACE」では、他学部生も含めた16人程度のクラスで授業が行われるため、これも他学部交流の場の一つと言えます。

学部の区切りはあるものの、その区切り以上に「一橋生」としてのまとまりで活動することが多いのが一橋大学です。

Q. 今学期どれぐらい他学部の授業を取った？



0単位 1～2単位
3～4単位 5～6単位

少人数ならではのゼミ学習 //

一橋大学は、各学年の総数が1,000人弱という少人数の大学です。その性質を活かした少人数でのゼミナール学習は一橋大学の特徴の一つとなっており、巷では「ゼミの一橋」と呼ばれることもあります。ゼミナール制度自体は他の大学にも存在しているものですが、一橋大学が他の大学と差別化される点として、7～8人を基本とする少人数での形式であること、及びゼミ学習への参加が必修とされていることが挙げられます。

ゼミの開講学年は学部により異なります。商・社会学部は1年次から導入ゼミナールが開講され、大学での学び方の基礎を身につけることができます。特に商学部は2年次も前期ゼミナールが必修で、大学4年間を通して何らかのゼミに所属し続けることになります。

学習内容はゼミによってそれぞれ違いますが、一般には個人・グループによる発表やそれに対するディスカッションなど、双方向性を重視した学習プログラムが実施されている場合が多いです。受け持つ生徒の人数が少ない分、担当教員からのフィードバックも手厚く受けられます。大人数の講義による知識の獲得とゼミによる実践・評価の両輪により、単に講義を受ける以上の学習を可能としているのが一橋大学のゼミ学習です。

中世ヨーロッパにタイムスリップ!?



▲ 兼松講堂



▲ 図書館

1875年に設立された一橋大学は約40年間、千代田区神田一ツ橋にありましたが、1923年の関東大震災を契機に国立及び小平キャンパスに移転しました。

現在の一橋大学の校舎の多くが約100年の歴史を持つ立派なものです。中でもひととき厳かな建物の一つに兼松講堂があります。兼松講堂は株式会社兼松商店の創業者兼松房治郎の遺訓に基づき寄贈を受け、1927年に東京帝国大学(現在の東京大学)の建築家の伊東忠太により設計されました。戦前の大学はゴシック様式の建物が多い中で兼松講堂はロマネスク様式が採られ、それに合わせる形で時計台棟や本館などの校舎もロマネスク様式となっています。

ロマネスク様式は10～12世紀にかけてヨーロッパ各地で展開した建築様式で、代表的なものとしてピサの斜塔で有名なピサ大聖堂が挙げられます。また、厚い壁、半円アーチ、豪華な柱頭を特徴に持ちます。兼松講堂もアーチを描く柱に鳳凰、獅子、龍のような神獣のレリーフが刻まれており、近くで見るとその優美で華麗な柱頭装飾に圧倒されることでしょう。

あなたも国立にゾッコン! //

国立市は文教地区であり、喧噪からは離れている静かな街です。そのため、学業や部活・サークルに専念しやすく、健全な大学生活を送るのにふさわしい場所と言えます。

また、治安が良く小さな子どもからお年寄りまで安心して暮らせる街です。国立市は東京都で2番目に小さい市ですが、小さいからこそ人のつながりが大切にされています。天下市・くにたち秋の市民まつりを始めとするさまざまなお祭りやイベントには地域の人々が集まり、交流が深められます。商店街もいくつもありますが、それぞれの色や温かさがあって、どのお店も魅力的です。おいしいご飯屋さんもたくさんあるので、入学したら訪れてみてください！

一橋大学が位置する大学通りは桜並木で有名ですが、桜並木だけではなく夏の新緑、秋の紅葉、冬のイルミネーションもとても美しく、四季折々の景色は圧巻です。このように人情豊かで魅力あふれる国立市を、毎日通ううちに好きになること間違いなしです。



▲ 大学通り